

「青木ヶ原風穴第2」

位置確認と清掃活動報告

勝間田 隆吉 (KATSUMATA, Takayoshi NPO 法人火山洞窟学会所属 静岡県在住)

大晦日はどなたでも特別な一日で、大掃除をしたりお正月の食材の買出しをしたりと、どこでも大忙しだと思います。そんな中で私は大晦日の仕事は前日まで片付けて、毎年のように青木ヶ原を散策したり、酔狂な仲間がいる場合は洞窟調査を楽しんでいます。

2010年の大晦日については、数年前に大晦日の青木ヶ原樹海散策に同行してもらった宮下理事と相談して、青木ヶ原風穴第2の位置確認と調査の下見に出掛けることを検討していました。青木ヶ原風穴第2は富岳風穴から鳴沢氷穴に続く遊歩道から分岐する林道沿いにあり、宮下さんが2001年に発見した洞窟です。以前から調査をしようという話がありましたが、洞窟のある場所が自殺の名所のひとつだったので、遺体や遺留物を見つけた場合の対応で忙殺される懸念などで春から秋の洞窟調査のシーズンには出掛けられませんでした。そこで、一般の人が樹海にほとんど入り込まない冬場に行くことを検討していましたが、冬場の青木ヶ原は道路の凍結や積雪で会員へ案内しても実行できるかわからない不確定の企画で、案はあるものの実行に移されることなく年月が過ぎてしまいました。そんな過去の反省を踏まえて、今回は大晦日限定企画として、自殺者捜索で放置されたルートテープ(ビニールひも)の回収を行うという「青木ヶ原樹海清掃作戦」も加えた行事として会員の皆さんにメーリングリストを通じて、参加者募集を行いました。青木ヶ原で自殺者の探索が行われる場合、他の場所ではルートテープが回収されていますが、宮下さんのお話では青木ヶ原風穴第2の周辺ではルートテープが回収されずに放置されていたそうです。NPO 法人 火山洞窟学会も団体会員として登録している「富士山クラブ」



図1 青木ヶ原風穴第2の位置

では富士山のゴミ回収を年中行事として取り組んでいますが、さすがに青木ヶ原樹海のルートテープ回収に挑んだ団体の記憶はありません。そこで、このルートテープ回収という樹海の清掃活動と青木ヶ原風穴第2調査とをいっしょに行うことにしました。

1. 結果概要

1) 企画名

2010年の最後を飾る大晦日の「幻の青木ヶ原風穴位置確認」の見学会&大掃除

2) 日時

2010年12月31日(金) 10時～14時30分
(当日は冷えてきたので、予定の15時に対して早めに終了)

2)-1 集合時間: 9時45分

(当初10時集合予定。前夜車中泊で来られた方が見えたので早めました)

2)-2 集合場所: 富岳風穴駐車場

(路面は積雪で駐車枠が見えない状態でした)

3) 参加者: 計4名

①宮下理事 : 同乗(ジムニー)

②勝間田(隆吉) : スズキ ジムニー
(スタッドレスタイヤ装着)

③磯部(忠正)さん: スバル プレオ
(スタッドレスタイヤ装着)

④木崎(裕久)さん: トヨタ ラッシュ
(スタッドレスタイヤ装着)

4) 実施事項

①青木ヶ原第2風穴の位置確認、内部確認

北緯35度28分14秒、東経138度39分23秒

②周辺の洞窟探索

青木ヶ原第2沿いの林道をさらに奥に進んだ。今回、青木ヶ原風穴第3(仮称)を発見。(狭いがぎりぎり30m程度)入洞のあとがあるがケイバーの調査は不明。(宮下さんも2001年には入っていない)

③青木ヶ原のルートテープ(ビニールひも)の大掃除

大きなゴミ袋2袋分のビニールひもを回収しました。(写真2では少なめですが、押し込んであります)

5) 補足

①今回の活動のための事前手続き: 事務局から青木ヶ原樹海への立ち入り申請を行なっています。(申請先: 山梨県 富士・東部林務環境事務所)